

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年5月12日 文責：校長 森川 稔



笑顔が輝いた一日でした

「運動会を楽しみたい！」子どもたちや地域、保護者の皆様の思いが空に届き、素晴らしい運動会日和となった日曜日、田平東小学校の運動会を開催することができました。子どもたちの演技や競技、応援の姿はいかがだったでしょうか。

今年度は、日程の都合により、例年よりも練習期間が短くなることが予想されていました。そこで、競技や演技によっては前年度から内容を工夫し、少し早めに練習を始めるなどの準備を進めてきました。年度をまたいで学年が進級し、教職員の異動があっても、見通しをもって練習を積み重ねることができました。



タイトな日程の中でしたが、子どもたちは本当によく頑張りました。特に6年生は、当初は緊張したり悩んだりする姿も見られましたが、応援や係活動などを通して、少しずつリーダーシップを発揮してくれました。

種目についても、走力や協力で競い合うもの、運の要素を取り入れたもの、かわいらしさや力強さを表現するものなど、「どの子どもも活躍できる運動会」をめざして計画しました。また、地域・保護者の皆様には、4月末の環境整備作業で、子どもたちが安全に練習に取り組めるよう、運動場の整備にご協力いただきました。当日も、温かいご声援だけでなく、十分な水分補給への配慮など、子どもたちを支えていただきました。おかげさまで、心配された熱中症等もなく、無事にすべての種目を終えることができました。

今回の運動会を通して、地域・家庭・学校が連携しながら子どもたちの成長を支えていくことの大切さを、あらためて感じました。多くの皆様のご来場、ご声援、そしてご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



運動会についてのアンケートにもさっそくご回答いただきありがとうございます。集約結果の概要については近日中にお知らせいたします。(14日までにご回答をお願いします)

がんばった先は…

振替休日でゆっくり心と身体を休めて新しい週の学校生活です。運動会では、それぞれの応援、最後まで全力で走る姿、仲間と力を合わせる姿、そして係活動で学校全体を支える高学年の姿など、子どもたち一人一人のがんばりが光る一日となりました。あらためて、本当によくがんばったと思います。

運動会では、「勝った」「負けた」という結果だけでなく、その過程の中にたくさんの学びがあります。思うように声が出せず悔しかったこと。緊張して失敗したこと。友達と意見が合わなかったこと。本気でがんばったからこそ、うれしさも悔しさも生まれます。しかし、そうした経験を通して、子どもたちは少しずつ心を成長させていきます。

特に今年の6年生は、前述のように短い準備期間の中で、全校をまとめる難しさや責任を感じながら取り組んでいました。はじめからうまくいったわけではありません。時には悩み、迷いながらも、自分たちで考え、声を掛け合い、少しずつ「最高学年の顔」になっていく姿が見られました。その姿は、下級生にとって大きな憧れとなったことと思います。

また、運動会を通して育った力は、走る力や体力だけではなく、

友達と協力する力。
最後までやり抜こうとする力。
人前でも頑張ろうとする力。
相手を応援する力。
自分の役割を果たそうとする力。

けがで参加できなくても係活動を一生懸命がんばっています。卒業生もさりげなく手伝ってくれます。



こうした力こそ、これからの学校生活の中で生かしてほしい大切な力です。

運動会が終わると、どこか「やり切った」という気持ちになり、ほっとする時期でもあります。もちろん、がんばった後に達成感を味わうことはとても大切です。しかし、運動会は「終わり」ではなく、これからの学校生活につながる大切な通過点でもあります。

運動会で育った力を、今度は毎日の生活の中で発揮してほしいと思います。

朝のあいさつを元気よくすること。
授業でしっかり話を聞くこと。
友達と協力して掃除をすること。
本を読むこと。
苦手なことにも挑戦してみること。

一つ一つは特別なことではありません。しかし、そうした毎日の積み重ねが、自分自身を大きく成長させていきます。

学校でも、子どもたちが運動会で得た自信や意欲を、日々の学習や生活につなげていけるよう、これからも指導・支援に力を入れていきます。

「がんばった先」にあるのは、新しい毎日です。運動会で育った力を、これからの学校生活の中でも発揮しながら、子どもたち一人一人がさらに輝いていくことを願っています。



田平東小HPはこちらから→

